住友林業

2026 年 11 月 27 日

報道各位

住友林業株式会社

2027年国際園芸博覧会開幕 100 日前に先立ち、最新情報を公開

～住友林業館「ひゃくの森」が受け継ぐ木のレガシー

住友林業株式会社（社長：光吉敏郎、本社：東京都千代田区）は 2027 年 3 月 19 日から 9 月 26 日に神奈川県横浜市で開催される「2027年国際園芸博覧会（以下、GREEN×EXPO 2027）」の開幕 100 日前に先立ち、住友林業館「ひゃくの森」の最新情報を公開します。

■住友林業館「ひゃくの森」が受け継ぐ木のレガシー

住友林業館「ひゃくの森」は GREEN×EXPO 2027 が推奨する「木造モジュールやリユース部材の活用」を体現し、建築部材の循環利用に積極的に取り組んでいます。2025 年大阪・関西万博「住友館」で使用された外壁パネルの一部を住友林業館「ひゃくの森」の外壁へと受け継ぎます。1970 年の大阪万博の際に愛媛県の住友の山に植えられた木が 2025 年の大阪・関西万博「住友館」の外壁に採用され、このたび横浜へと活躍の場を移します。

また、外壁の一部に台風や強風により倒れた風倒木を採用しています。そして、構造材には国際的な森林認証制度のひとつである PEFC 認証の持続可能な木材を中心に、SGEC※1 認証材も使用しています。住友林業館「ひゃくの森」は、森林資源の持続的な利用と循環を建物で体現しています。

※1 PEFC との相互認証を受けた日本独自の森林認証制度

*商標ライセンス番号: SGEC/31-32-86、PEFC/31-32-86

■館内に散りばめられる「100 の視点」

ご来場のみなさまが森や木との新しい発見に出合うための演出として、住友林業館「ひゃくの森」では「100 の視点」を館内各所に散りばめた展示を予定しています。子どもの目、科学の目、文化・経済・都市の目、動物・生き物たちの目、地球の目――さまざまな立場から自然を見つめる「100 の視点」は入口のトンネル、シアター、ミュージアム、2 階デッキへと続く展示空間のいたるところに仕掛けとして組み込みます。



1 階ミュージアム内に散りばめられた

100 の視点（イメージ）

※実際の展示内容とは異なる可能性がございます。

「100EYES, 100FORESTS.（森の姿は、見る人によって変わっていく）」のコンセプトのもと、100 人いれば 100 通りの森の見え方があることを体感いただける展示をぜひお楽しみください。

木と生きる幸福

住友林業グループ

■100 日前の 12 月 9 日に公式 SNS アカウントを開設（Instagram・X）

住友林業館「ひゃくの森」は Instagram・X の 2 つの SNS プラットフォームで、開幕 100 日前となる 12 月 9 日に公式アカウントを開設します。SNS では展示や体験イベントの情報などを随時発信します。

■住友林業館「ひゃくの森」の中心部に位置する「巡りの山」の最新パースを初公開

住友林業館「ひゃくの森」の中心部は「巡りの山」と名付けた住友林業の創業の地である新居浜の社有林をイメージしたエリアです。このエリアの中心には、2 階のデッキ部分を超える高さのヒノキを 3 本植えており、2 階からは木の樹冠をご覧いただけます。



■GREEN×EXPO 2027 への想い

1691 年の創業以来、森林経営を事業の根幹に置き、330 年以上にわたって「木」を軸に事業を展開してきた当社にとって、初めて単独で臨む国際博覧会となります。

住友林業グループは 2030 年までの長期ビジョン「Mission TREEING 2030」で「地球環境」、「人と社会」、「市場経済」の 3 つの価値を同時に実現することを目指しています。私たちは、森林経営から木材・建材の製造・流通、戸建住宅、中大規模木造建築、不動産開発、木質バイオマス発電まで、「木」を軸とした幅広い事業をグローバルに展開しています。これらの事業をつなぐ独自のバリューチェーンが「ウッドサイクル」です。

森林を育て、木を活用し、建築物などに利用し、再び森林を育てていく。この「ウッドサイクル」を循環させることで、森林の若返りにより CO2 吸収量を増やし、木造建築の普及による炭素固定を促進するなど、自社のみならず社会全体の脱炭素への貢献を目指します。

GREEN×EXPO 2027 では「ウッドサイクル」を軸とした住友林業グループのこれまでの取り組みと未来への挑戦を発信するとともに、森を見つめるさまざまな視点との出合いを通じて、来場者のみなさまが五感を通じて森や木の可能性に思いをはせ、それぞれの「森」を見つけるきっかけとなる場を目指します。

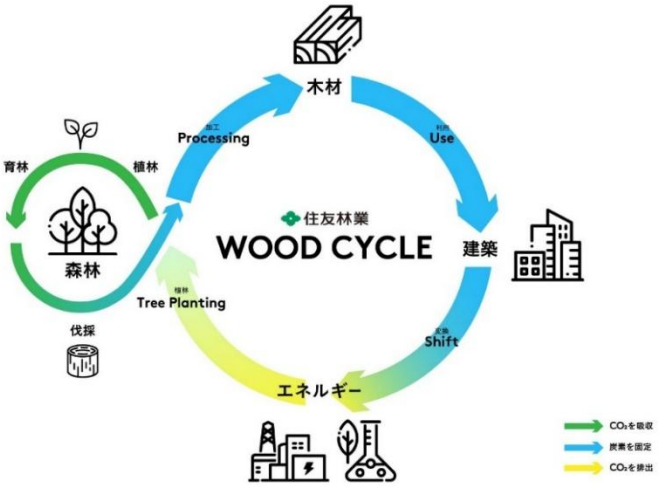
※詳しくはこちらから https://sfc.jp/information/vision/

Mission TREEING 2030

木と生きる幸福
住友林業グループ

■WOOD CYCLE について

※詳しくはこちらから　https://sfc.jp/information/vision/woodsolution/



■住友林業館「ひゃくの森」コンセプト

住友林業館

100の森（ひゃく）

100EYES. 100FORESTS.

森の姿は、見る人によって変わっていく。
ここであなたを待っているのは、森を見つめる 100 の視点。
子どもの目。科学の目。文化、経済、都市の目。
ひとつひとつのまなざしが、森に隠された命と知を映しだし
そこにある新しい可能性を照らしています。
奥へと進むほどに広がっていく、森との物語。
そして、ここを訪れたあなた自身もまた、100 の視点のひとつなのです。

さあ、どんな目で森を見よう？
知らなかった森の可能性を巡る旅がはじまります。

■住友林業館「ひゃくの森」概要

住友林業館「ひゃくの森」は「100EYES, 100FORESTS.（ハンドレッドアイズ、ハンドレッドフォレスツ）」をコンセプトに、木と森を多角的な視点から見つめる体験を提供します。森が育む「命」と「知」に触れ、人と木が共に築いてきた現在の森、そしてこれから創り出す未来の森について考えるきっかけを得ることができます。

■住友林業館「ひゃくの森」特設サイト: https://sfc.jp/expo2027

特設サイトでは住友林業館「ひゃくの森」のイメージパース・ロゴや最新トピックスがご覧いただけます。2027 年 3 月 19 日の GREEN×EXPO 2027 開幕に向け、新たなコンテンツや展示・体験の詳細、イベント情報など随時関連情報の更新を予定しています。

■2027年国際園芸博覧会とは

正式名称：2027年国際園芸博覧会（International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan）

テーマ　：「幸せを創る明日の風景（Scenery of the Future for Happiness）」

開催期間：2027 年 3 月 19 日（金）～9 月 26 日（日） 192 日間

開催場所：神奈川県横浜市・旧上瀬谷通信施設地区

※AIPH（国際園芸家協会）承認・BIE（博覧会国際事務局）認定の国際博覧会で、世界各国・地域が参加し、花や緑、農、食、環境技術を通じて未来社会を提示する博覧会。 会場は、約 100 ヘクタール（東京ドーム約 21 個分）の広大な会場空間を舞台に、各国 Village や企業出展、最先端のガーデン展示が展開。計 1,500 万人の参加が見込まれています。



GREEN×EXPO 2027

公式マスコットキャラクター

トゥンクトゥンク

©Expo 2027

＜リリースに関するお問い合わせ＞

住友林業株式会社

GREEN×EXPO 2027 プロジェクト委員会　広報グループ　堀・河村

TEL: 03-3214-2270